

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 東京大学大学院 医学系研究科 病因・病理学専攻
免疫学講座 教授 高柳 広 先生
2. 演 題 「骨免疫学の最前線」
3. 日 時 平成26年12月4日(木) 17時00分 ～ 19時00分
4. 場 所 M&Dタワー2階 共用講義室1
5. 内 容

骨代謝と免疫の境界領域である骨免疫学は、炎症性骨破壊疾患である関節リウマチの骨破壊の研究に端を発するが、免疫系ノックアウトマウスの解析や骨髄における造血幹細胞の研究など幅広く発展しつつある。

関節リウマチに伴う骨破壊を引き起こす T 細胞の探索では本年大きな前進がみられた。すでに我々は、Th17 が破骨細胞誘導を介して骨破壊に重要な役割を果たすことを見いだしていたが、炎症関節において Treg が Th17 に転換して病的な T 細胞に変化することが病態に大きく寄与することが明らかになった。

そのほか、近年注目を集めている骨髄内の細胞間相互作用を司る分子機構の進展について概説する。

Nat Med 20:62-8 (2014), Immunity 38:881-95 (2013), Nat Rev Rheumatol 8:684-9 (2012), Nature 485:69-74 (2012), Nat Med 17:1473-80 (2011), Nat Med 17:1231-4 (2011), Nature 464:1381-5 (2010), Cell 132:794-806 (2008), Science 319:624-7 (2008)

連絡先: 分子情報伝達学分野 中島友紀 内線:5472